

関東ブロック国公 ニュース11号 2017年12月22日

【電話】03-3501-6973

【FAX】03-3500-4391

【Eメール】

office@tk-kokko.org

URL: <http://tk-kokko.org/>



主催者挨拶 菅富美男議長
国公産別の一翼を担って、18春闘
で積極的役割発揮を！



「首都圏での関プロの奮闘に期待します」
熱弁90分！鎌田一国公労連書記長

全国に先駆けて12月15日(土)16日(日)、群馬県の水上温泉・ホテル聚楽にて関東ブロック国公の18春闘討論集会が開催されました。

主催者を代表してあいさつに立った菅富美男議長は、関東ブロック国公が第28回定期総会(10月28日)で、国公労連の規約上の地方組織に移行したことの意義に触れつつ「国公産別の一翼を担って、首都・首都圏を抱える関東プロ

18春闘に向け意気高く「国民の中に」の決意を新たに！

12月15日・16日

関ブロ国公

関東ブロック国公春闘討論集会の開催《菅議長挨拶》

2018年春闘は、関東ブロック国公が国公労連規約上の地方機関に移行して初めての春闘。関東ブロック国公はこれまでも国公労連の方針を尊重し、協力・共同の関係のなかで、首都圏を含む関東甲信越地域で官民共同、国民春闘や公務産別運動に結集、各都県国公も各地域のローカルセンターのなかで中心的な役割を果たしてきたが、2018年春闘では、文字通り国公労連の一員としてこれまで以上に、公務産別の一翼を担い、国民春闘に奮闘することになる。

さて、春闘をたたかうにあたって、3つの重点的な課題について、問題提起をする。

1点目は、私たち労働組合が自らの経済要求を掲げ、たたかい、運動ができるのは、生命の安全や思想信条や結社の自由などの民主主義が担保されるということが大前提。その意味で、現在の政権が目論む憲法「改正」が平和や基本的人権を掘り崩す方向にむかう限りにおいて、要求実現の運動への障害としてその阻止のために運動をしなければならない。職場を基礎にする労働組合のなかでは、困難なテーマであることは承知をしながら、丁寧で粘り強い職場世論や地域世論の形成に力を尽くそう。

2点目は、経済要求について、冒頭に申し上げたとおり、公務産別の一翼を担って官民共同、国民春闘での経済要求の実現に全力をあげる。財界の戦略とそれを後押しする政府の政策・施策のもとで、国民生活のなかには格差と貧困が広がっている。2018春闘では、大企業に国民・労働者の生活改善に必要な応分の負担を求め、格差と貧困の解消、根絶をめざすことが重要な目標となる。また、格差と貧困はひろく国民生活に広がっていると同時に、公務のなかでも、正規の職員と同じように働きながら、賃金や権利に関わり、国公法と一般労働法の間で置き去りにされている期間業務職員をはじめとする非常勤職員制度として顕在化している。職場のなかの格差と貧困の解消、根絶の立場からも非常勤職員の労働条件改善を求めるたたかいにも全力を挙げる。

最後に、これらの要求実現のための保障となる組織の強化・拡大も春闘のなかで重視する。組織強化・拡大は、そのこと自体を運動の柱に据えることも重要だが、特に組織強化は、要求運動のなかでそれを意識したとりくみを各級機関にもお願いしたい。

関東ブロック国公は、各都県、職場でのこれまでの貴重な経験を交流し、ブロック国公として広めるために、2018春闘でも皆さんの先頭に立って奮闘することを申し上げ、本集会で提起する春闘方針を豊かに補強していただくことをお願いして挨拶とする。

ック国公が、18春闘で積極的役割を果たし、国民の安全・安心を守る行政

の確立と国公労働者の要求前進のために大いに奮闘しよう」と呼

びかけました。
【菅議長の挨拶の詳細な内容は左の囲み記事】

国民と共に春闘さいこうちくをー鎌田国公労連書記長講演

その後の討論集会はまず、国公労連の鎌田一書記長の「18春闘情勢と